



産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 20日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者
住 所 大分県玖珠郡九重町大字菅原555-1
氏 名 有限会社九重ファーム
代表取締役 赤嶺 辰雄
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0973-78-8049

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 九重ファーム
事業場の所在地	大分県玖珠郡九重町大字菅原555-1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	養豚 (種豚780頭)
③ 従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜の糞尿 : 自己で堆肥化 コントラクターに委託し搬出 家畜の死体 : 化製場へ委託し処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
代表取締役社長 : 廃棄物処理に関する事項の決定・承認			
統括部長 : 廃棄物処理に関する事項の協議・報告			
担当者 : 計画書の作成			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排出量	9,500 t	70 t
	(これまでに実施した取組)		
	家畜の糞尿 : 自己で堆肥化 コントラクターに委託し搬出 家畜の死体 : 化製場へ委託し処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排出量	9,500 t	70 t
	(今後実施する予定の取組)		
	家畜の糞尿 : 自己で堆肥化 コントラクターに委託し搬出 家畜の死体 : 化製場へ委託し処理		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 糞尿固液分離		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 糞尿固液分離		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,000 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8,500 t	t
	(これまでに実施した取組) 浄化槽設備による処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8,500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 浄化槽設備による処理 有識者とのコンサルタント契約による指導		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	70 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	70 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	化製場へ委託し処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	70 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	70 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	化製場へ委託し処理		
※事務処理欄			